

事業所名

まるまる

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

3月

1日

| | | | | | | |
|-----------|--|--|-----|---------|--|----|
| 法人（事業所）理念 | 未来はひとつじゃない。 笑顔・感謝・共生 | | | | | |
| 支援方針 | 私たちの使命は、子どもたちの療育とその将来を近くで見守ることです。 私たちは、子どもたちにとって、身近で信頼される組織を目指します。 私たちは、子どもたちの立場に立ち、誠意をもって対応します。 | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 分から | 18時 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康の把握のため健康チェックを行ない、状態を把握 ・睡眠や食事等を把握し、生活リズムの安定を図る ・食事・着脱・排泄など基本的な日常動作の獲得 | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動時などの日常生活の中での姿勢保持の安定 ・上肢や下肢の運動や動作の獲得、筋力維持や強化を図る ・感覚の偏りや過敏、鈍麻がある児童への配慮～感覚統合やクールダウン等を取り入れながら落ち着いて過ごしやすい環境を提供 | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの支援～見通しカードを使い活動スケジュールや見通しを提示 ・形や色、大きさなどの概念理解に努める ・認知の偏りや個々の特性を配慮しながら、こだわり等に対して支援を行なう | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や日常会話の習得 ・集団遊びや自由遊びの時間を通じて円滑にコミュニケーションが取れるスキルを身につけられるように支援を行なう ・相手の気持ちやことば、表情やジェスチャー、また視覚的に示された情報等から正確に意味を受け取ることができるように支援を行なう | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルール遊びや共同遊び等を通して社会性や対人関係を意識して過ごせるように支援を行なう ・集団生活の中での周囲の人との距離感や関係性を理解したり、支援者となつながら信頼できるという実感を持てるように支援を行なう | | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族からの相談に対する適切な助言やサポート ・延長サービス | | | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校、関係機関との連携 | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスーパーへの買い物 ・町探索 | | | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・新入職員研修 ・一人一人の児童に対する担当者会議、ケース検討会の実施 | |
| 主な行事等 | <ul style="list-style-type: none"> ・外出イベント（公園、プール、科学館、博物館、スキー場など） ・クッキング ・月に1回お祭り開催 | | | | | |

事業所名

まるまる

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

3月

1日

| | | | | | |
|-----------|---|---|-----|--|---------------|
| 法人（事業所）理念 | 未来はひとつじゃない。 笑顔・感謝・共生 | | | | |
| 支援方針 | 私たちの使命は、子どもたちの療育とその将来を近くで見守ることです。 私たちは、子どもたちにとって、身近で信頼される組織を目指します。 私たちは、子どもたちの立場に立ち、誠意をもって対応します。 | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 分から | 18時 | 分まで | 送迎実施の有無 あり |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 心身の健康の把握のため健康チェックを行ない、状態を把握 手洗いや衣服の着脱、排泄など日常生活におけるスキルを一つ一つ身につけられるように支援を行なう 睡眠や食事等を把握し、生活リズムの安定を図る | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 活動時などの日常生活の中での姿勢保持の安定 上肢や下肢の運動や動作の獲得 感覚の偏りや過敏、鈍麻がある児童への配慮～感覚統合やクールダウン等を取り入れながら落ち着いて過ごしやすい環境を提供 | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の活用（パズル、知育玩具、バランスを使った遊び）・数量、大小、色などの習得（知育玩具～マッチング、仲間分けなど） 知覚から行動への認知過程の発達（粘土、スライム、など） 概念の形成（ブロック遊び、ボール転がしなど） | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> いろいろな体験を通して言語の習得や自発的な発声を促す 集団遊びや自由遊びの時間を通じて円滑にコミュニケーションが取れるスキルを身につけられるように支援を行なう 相手の気持ちやことば、表情やジェスチャー、また視覚的に示された情報等から正確に意味を受け取ることができるように支援を行なう | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ルール遊びや共同遊び等を通して社会性や対人関係を意識して過ごせるように支援を行なう 集団生活の中での周囲の人との距離感や関係性を理解したり、支援者となつてつながり信頼できるという実感を持てるように支援を行なう | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談に対する適切な助言やサポート 延長サービス | 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 学校・関係機関との連携 | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> 地域のスーパーへ買い物 町探索 | 職員の質の向上 | | <ul style="list-style-type: none"> 新入職員研修 一人一人の児童に対する担当者会議、ケース検討会の実施 | |
| 主な行事等 | <ul style="list-style-type: none"> 外出イベント（公園、プール、科学館、博物館、スキー場など） クッキング 月に1回お祭り開催 | | | | |